

【相手を知ること】

保育園で毎年さまざまな子ども達と出逢い、私自身も日々一緒に成長させてもらっています。そこで今回は私が保育士として特に大切だと感じていることをお伝えします。それは、“**相手を一面で判断しないこと**” “**背景を知ろうとすること**” です。これについて具体的なエピソードがあります。

メリッサ（2歳児）でプラレールをしていた時のことです。手に線路を持ちながら、友達の周りを歩いている子がいました。「新幹線、新幹線」と繰り返しつつ歩いていました。その子は普段からよくハヤブサを好んで使っていたので、『友達が使っているハヤブサが欲しいのかな？』と思い、友達から新幹線を貸してもらえる方法を伝え、促しました。すると首を横に振り、ハヤブサが欲しい訳ではない様子。他の新幹線を渡しても違うようで、結局あまり遊べず片付けの時間になってしまいました。片付けになった途端その子の目に涙があふれ、わーっと泣き出しました。何を求めていたのか、具体的に自分で話してもらうにもまだ2歳の子には難しいことです。どうしたら泣き止むかと考えていると、ふと握りしめている線路が目に入ったので「これはなに？」と聞いてみました。するとその子は「新幹線」と答えました。その子にとっては“線路”が“新幹線”だったのです。思い返すと、先ほどは線路を沢山持っている友達の周りを歩いていたことにも気づきました。「長い線路を作って遊びたかったの？」と聞くとぴたりと泣き止み、はじめて「うん」と頷いてくれました。

時間が限られている時などには特にその場の表面的な状況や、子どもの発した一言だけで物事を判断しそうになることがあります。

“相手を一面で判断しないこと” “背景を知ろうとすること”

子どもの目線に立ちながら、一人ひとりの“裏側の気持ち”に気づける大人でありたいと思います。

（子どもだけでなく大人であっても、同様ですが）

皆さんは子育ての中で分かったつもりになって、でも子どもの要望が違っていることって、ありませんか？

乳児であっても、自分の『思い』『要望』がしっかりあるんですね。

私達大人が皆で子どもの成長を見守り、寄り添い、支えていきたいですね。

（石川）

